

ディーラーマニュアル

レボシフトシフター

REVOSHIFT Shifter

SL-RS47
SL-RS45
SL-RS36
SL-RS35
SL-RS34
SL-RS25

重要なお知らせ

- ディーラーマニュアルは自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方を対象としています。専門知識のないユーザーがディーラーマニュアルを参照して、部品を取り付けないでください。記載されている内容に不明な点がある場合は絶対にご自身で作業せず、購入された販売店、または代理店へご相談ください。
- 各製品に付属している取扱説明書も併せてよくお読みください。
- ディーラーマニュアルに書かれていない製品の分解、改造はおこなわないでください。
- 全ての取扱説明書、ディーラーマニュアルはウェブサイト(<http://si.shimano.com>)でご覧いただけます。
- 地域のルールや法律に従って製品をご使用ください。

安全のため、必ずこのディーラーマニュアルをよくお読みの上、正しくご使用ください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険

「死亡や重傷を負う恐れが大きい内容」です。

警告


「死亡や重傷を負う恐れがある内容」です。

注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある内容」です。

安全のために

警告

- 製品を取付ける際は、必ず説明書等に示している指示を守ってください。
その際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。ボルトやナット等が緩んだり、破損しますと突然に転倒して重傷を負う場合があります。
また、調整が正しくない場合、不具合が発生し、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
-  部品の交換など、メンテナンス作業中は、安全メガネまたはゴーグルを着用し、眼を保護してください。
- ディーラーマニュアルはよくお読みになった後、大切に保管してください。

使用上の注意

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- レバー操作時には必ずクランクを回しながら操作を行ってください。
- ギアは定期的には中性洗剤で洗浄してください。またチェーンを中性洗剤で洗浄し注油することも、ギア及びチェーンの寿命を延ばす効果があります。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の経年劣化は保証いたしません。

自転車への組付け、整備に関する事項

- フリクション対応のフロントディレイラーを使用する場合は、下記のシフティングレバーとの組み合わせでご使用ください。

シフティングレバー フロントディレイラー	SL-RS36-LN / SL-RS35-LN / SL-RS34-LN / SL-RS25-LN	SL-RS47-L / SL-RS45-L / SL-RS36-L / SL-RS35-L
FD-TZ31 / FD-TZ30 / FD-TZ21 / FD-TZ20	OK	不可

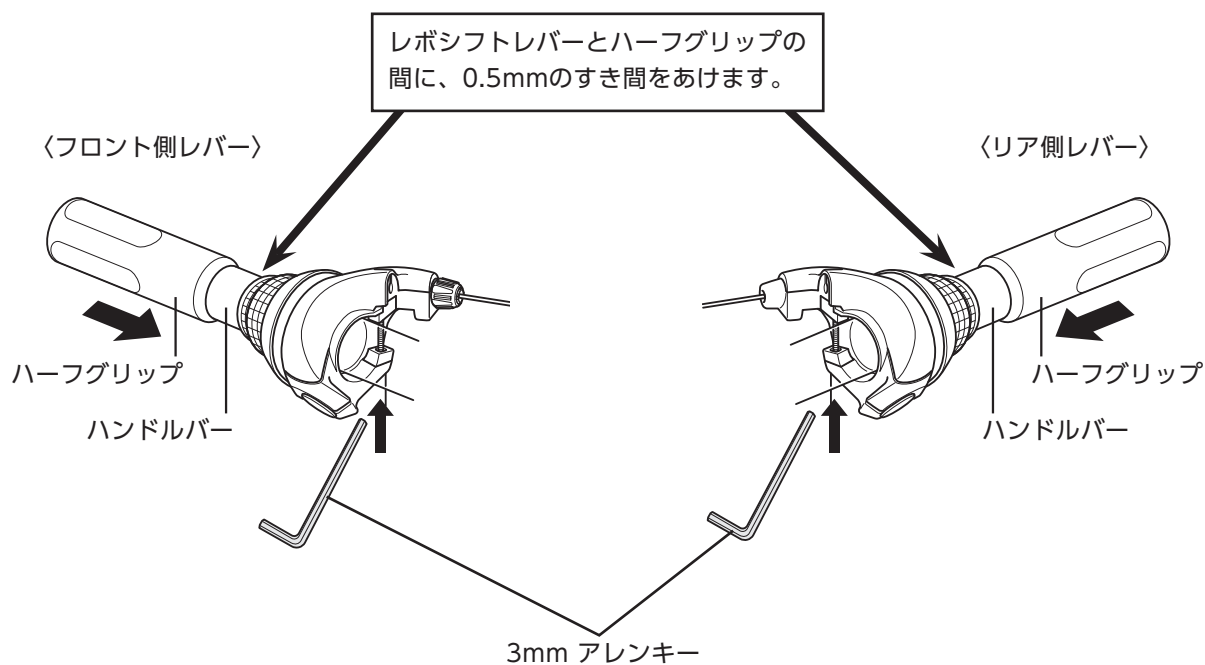
手順の説明を主体としていますので、製品イメージが異なる場合があります。

取付け

■ シフティングレバーの取付け

1. ブレーキ操作に支障をきたさない位置にシフティングレバーを取付けてください。

- ブレーキ操作に支障をきたす場合は組合せ使用しないでください。



モデル	締付けトルク
SL-RS25 SL-RS35	2.5-3 N・m (25-30 kgf・cm)
SL-RS34 SL-RS36 SL-RS45 SL-RS47	2-2.5 N・m (20-25 kgf・cm)

調整

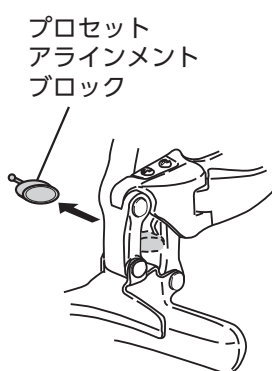
必ず次の順序で行ってください。

■ フロントレバーの調整

(1) ロー側の調整

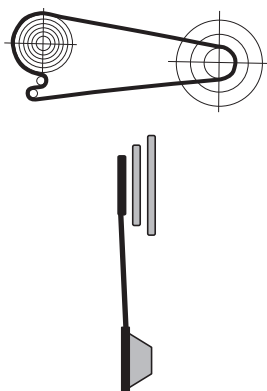
1. プロセットアライメントブロックがついているモデルはまず取外してください。
2. 次にチェーンガイド内プレートとチェーンの隙間を0~0.5mmにセットしてください。

1.

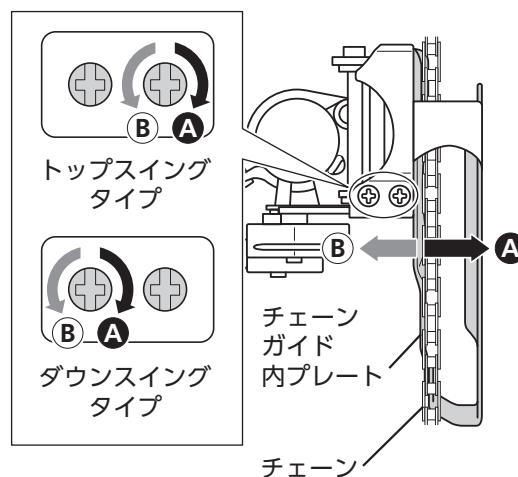


チェーンの位置

最大スプロケット 最小ギア



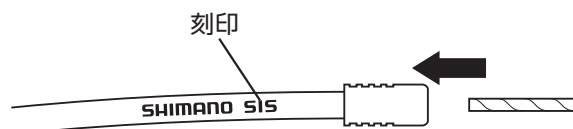
2.



(2) インナーケーブルの取付けと固定

インナーケーブルの通し方向

- アウターケーシングの刻印側からインナーケーブルを通してください。
- ケーブル効率維持のため、刻印側にグリスが封入されています。



アウターケーシングの切断

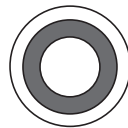
- アウターケーシングを切断する場合には刻印の反対を切断してください。
- 切断後の端面は、外側を真円に戻し、穴の内側を整えてください。

悪い例



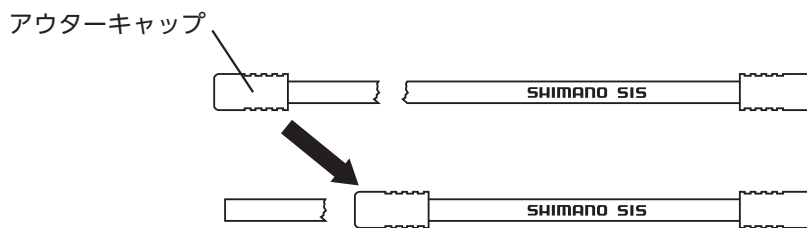
コイルが内側に倒れている

良い例



コイルが内側に倒れていない

- アウターケーシングキャップは、切断後も同一物を使用してください。

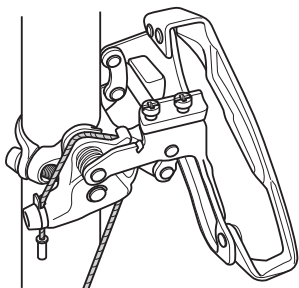


1. インナーケーブルを強く引っ張りながら、ワイヤー固定ボルトを締めて固定してください。

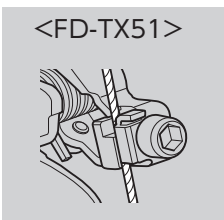
- FD-TY10 : 9mmスパナを使用します。
- FD-TX51 / FD-TX50 : 5mmアレンキーを使用します。

締付けトルク :
5.0 - 7.0 N·m {50 - 70 kgf·cm}

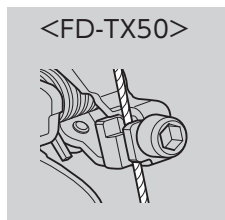
< トップスイングタイプ >



< ノーマルタイプ >



< FD-TX51 >



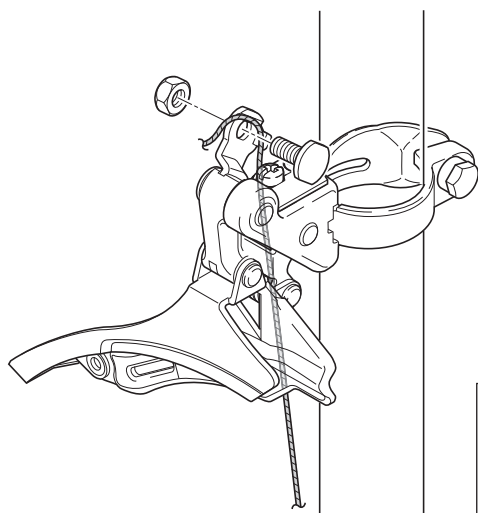
< FD-TX50 >

注意 :
インナーケーブルは図のように通してください。

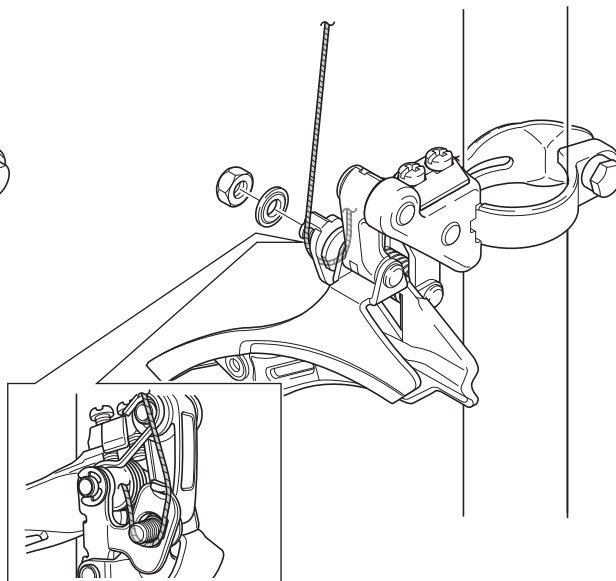
- FD-TZ31 / FD-TZ30 : 9mmスパナを使用します。

締付けトルク :
10.0 N·m {100 kgf·cm}

< ノーマルタイプ >



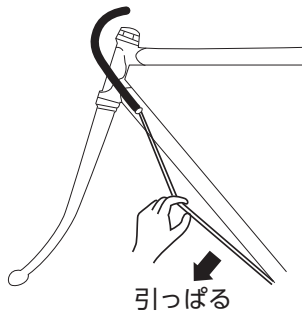
< トップルートタイプ >



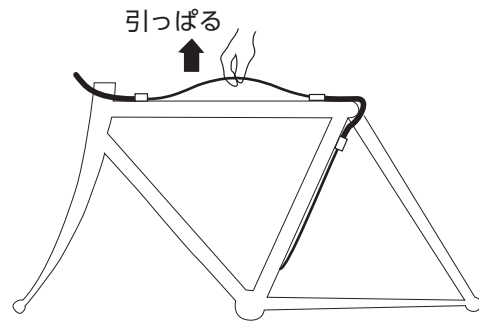
(3) ケーブルの張り調整

1. 図のようにインナーケーブルの初期の伸びをとった後、再びフロントディレイラーに固定しなおします。

< ノーマルタイプ >



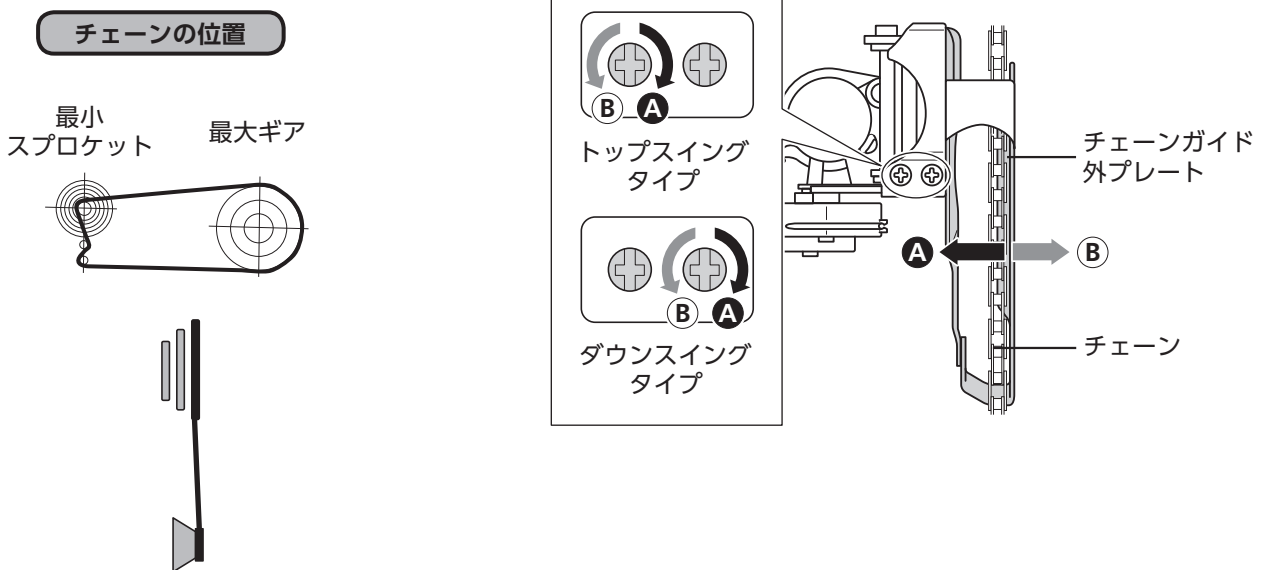
< トップルートタイプ >



2. 不要なケーブルを切断し、エンドキャップを取付けてください。

(4) トップ側の調整

1. チェーンガイド外プレートとチェーンの間隙を0~0.5mmにセットしてください。

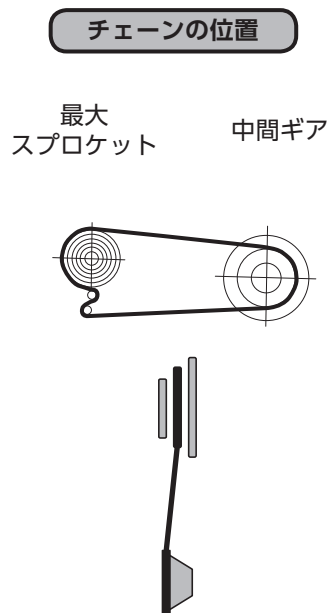


(5) ミドルギアの調整

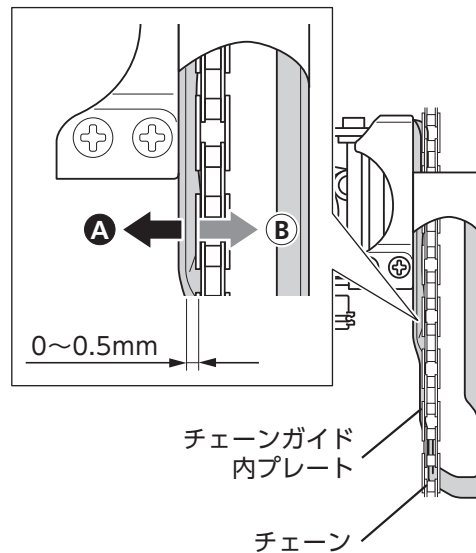
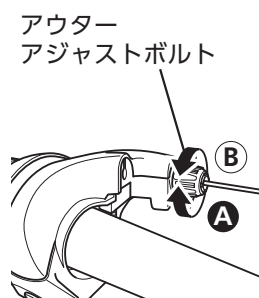
LN (フリクションタイプ) にはアウターアジャストボルトが無いので、この調整は必要ありません。

1. チェーンをリアスプロケットの最大ギアにセットし、フロントは最大ギアから中間ギアに変速させて調整します。
2. チェーンガイド内プレートとチェーンの間隙が0~0.5mmになるようにアウターアジャストボルトで調整してください。

1.



2.



(6) 変速の確認及び微調整

(1)～(5)を終えた後、シフティングレバーを操作して変速の確認をします。
(使用しているうちに変速しにくくなった場合も同様です。)

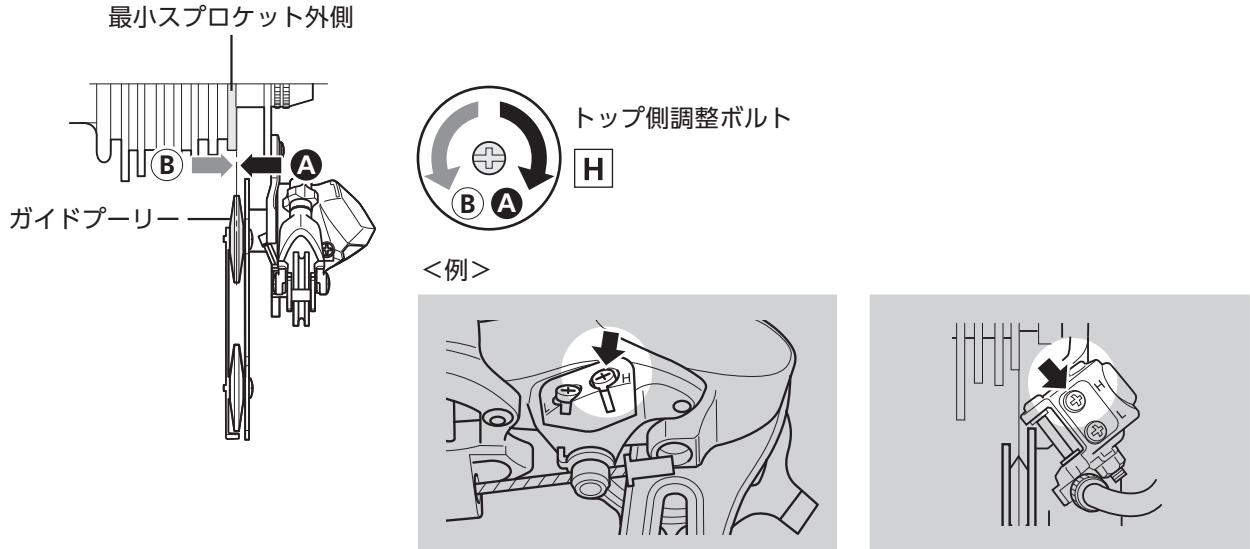
クランク側へチェーンが落ちてしまうとき	▶	トップ側調整ボルトを時計回りに回す。
中間ギアから最大ギアに変速しにくいとき	▶	ケーブルを張る。それでも改善しない場合はトップ側調整ボルトを反時計回りに回す。
中間ギアから最小ギアに変速しにくいとき	▶	ロー側調整ボルトを反時計回りに回す。
チェーンがフロントチェーンホイールの最大ギアの位置でフロントディレイラーのインナープレートとチェーンが干渉するとき	▶	トップ側調整ボルトを時計回りに回す。
チェーンがフロントチェーンホイールの最大ギアの位置でフロントディレイラーのアウタープレートとチェーンが干渉するとき	▶	ケーブルを張る。それでも改善しない場合はトップ側調整ボルトを反時計回りに回す。
最大ギアから変速して中間ギアを飛び越えてしまうとき	▶	ケーブルを張る。
中間ギア位置でリアを最大ギアにした場合、チェーンがフロントディレイラーインナープレートと干渉する場合	▶	ケーブルを緩める。
最大ギアから中間ギアに変速しにくいとき		
ボトムブラケット側へチェーンが落ちてしまうとき	▶	ロー側調整ボルトを時計回りに回す。

■ リア側レバーの調整

(1) トップ側の調整

1. 後方から見て、ガイドプーリーが最小スプロケットの外側の線の上に来るようにトップ側調整ボルトを回して調整してください。

* トップ側調整ボルトの位置はモデルによって異なります。

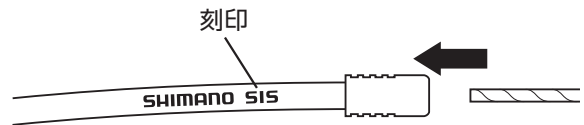


2. この後チェーンを取付けます。

(2) インナーケーブルの取付けと固定

インナーケーブルの通し方向

- アウターケーシングの刻印側からインナーケーブルを通してください。
- ケーブル効率維持のため、刻印側にグリスが封入されています。



アウターケーシングの切断

- アウターケーシングを切断する場合には刻印の反対を切断してください。
- 切断後の端面は、外側を真円に戻し、穴の内側を整えてください。

悪い例



コイルが内側に倒れている

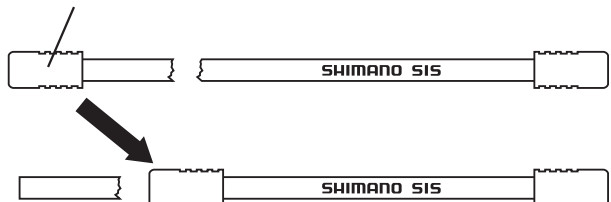
良い例



コイルが内側に倒れていない

- アウターケーシングキャップは、切断後も同一物を使用してください。

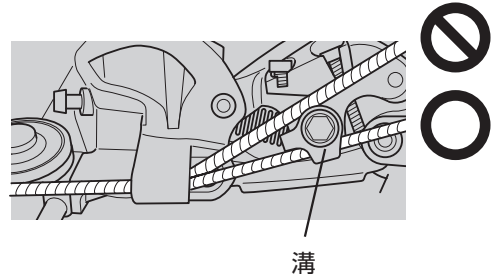
アウターキャップ



1. インナーケーブルをリアディレイラーに固定してください。

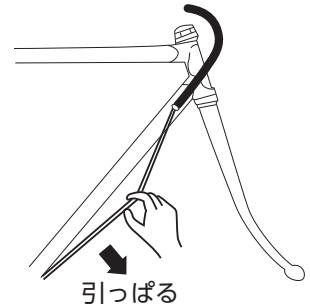
締付けトルク：
5.0 - 7.0 N·m {50 - 70 kgf·cm}

注意：
インナーケーブルは必ず溝に沿わせて固定してください。



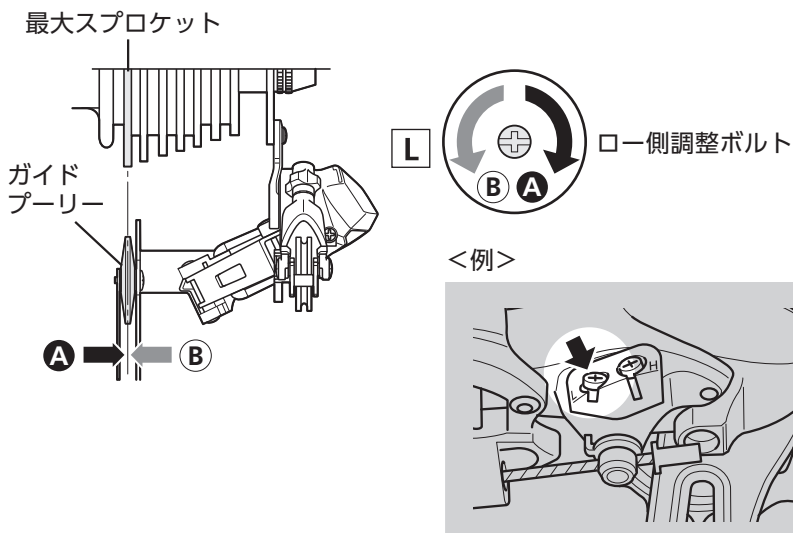
(3) ケーブルの張り調整

1. 図のようにインナーケーブルの初期の伸びをとった後、再びリアディレイラーに固定しなおします。



(4) ロー側の調整

1. フロントチェーンホイールを回しながらレバーを操作してローギアに変速させます。
2. ガイドプーリーが最大スプロケットの真下にくるように、ロー側調整ボルトを回して調整してください。
* ロー側調整ボルトの位置はモデルによって異なります。



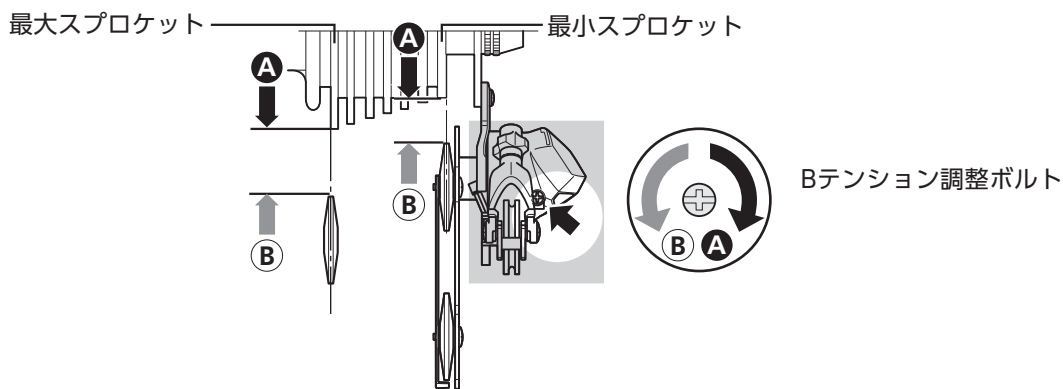
(5) Bテンション調整ボルトの調整

<RD-TX75 / RD-TX55 / RD-TX35>

1. チェーンをチェーンホイールの最小ギア、フリーホイールの最大ギアにセットし、クランクを逆に回します。
2. チェーンづまりしない位置までガイドプーリーがギアに近づくようにBテンション調整ボルトを回して調整します。
3. 次にフリーホイールを最小ギアにセットして同様に、チェーンテンションがとれていることを確認してください。

<RD-TZ50>

1. 適切な変速性能を維持するため、チェーンをチェーンホイールの最小ギア、フリーホイールの最大ギアにセットします。
2. 目安として、フリーホイールの歯先からガイドプーリー歯先までの距離が10mmとなるようBテンション調整ボルトを回して調整します。
3. 次にフリーホイールの最小ギアにセットしてチェーンテンションがとれていることを確認してください。



■ SISの調整

1. シフティングレバーを1回操作して、リアギアを最小スプロケットから2段目に変速させます。
2. その後、レバーの遊び分だけ操作した状態で、クランクを回転させます。

- ✓ シフティングレバーをレバーの遊び分だけ操作した状態でチェーンが最小スプロケットから3段目のギアに接触し、音鳴りする状態がベストセッティングです。



• チェーンが最小スプロケットから3段目のギアに変速する場合

チェーンが最小スプロケットから2段目のギアに戻るまで調整ボルトをしめる。(時計方向)

* 調整ボルトの位置はモデルによって異なります。



• 全く音鳴りがしない場合

チェーンが最小スプロケットから3段目のギアに接触し音鳴りがするまでボルトを緩める。(反時計方向)



3. レバーをもとの位置に戻し(ギアは最小スプロケットから2段目の位置でレバーから指を離した状態)、クランクを回転させてください。

• チェーンが最小スプロケットから3段目のギアと接触し、音鳴りが残っている場合は調整ボルトを少し締めて(時計方向)、音鳴りのしないぎりぎりのポイントで止めるようにしてください。

4. レバーを操作して変速し各段で音鳴りがないことを確認してください。

5. SISの機能を十分に持続させるために伝達各部にオイルメンテナンスを行ってください。

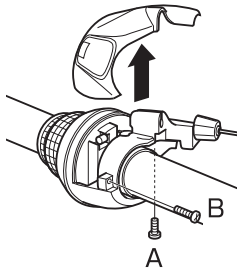
メンテナンス

■ インナーケーブルの交換

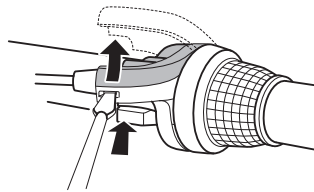
1. シフターを操作してギアをトップ (リアの場合) / ロー (フロントの場合) の位置に合わせます。
2. ドライバーで、A・Bの2本のネジを緩めてカバーを外します。

< フロント側レバー >

SL-RS47 / SL-RS45 /
SL-RS36 / SL-RS34の場合

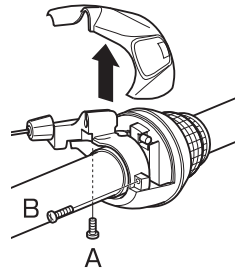


SL-RS35 /
SL-RS25の場合

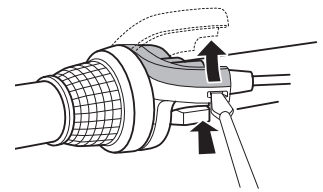


< リア側レバー >

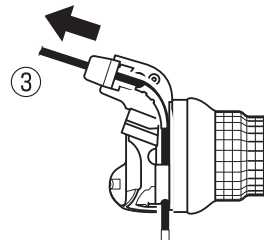
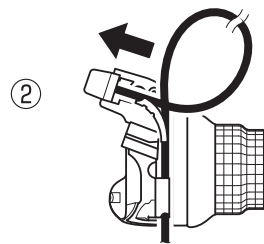
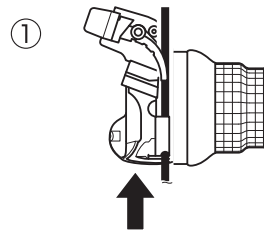
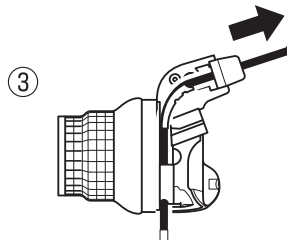
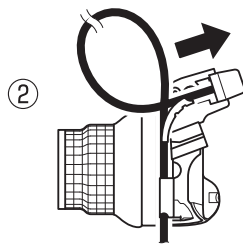
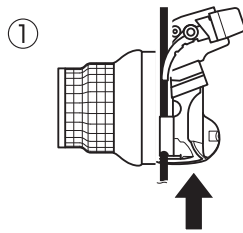
SL-RS47 / SL-RS45 /
SL-RS36 / SL-RS34の場合



SL-RS35 /
SL-RS25の場合



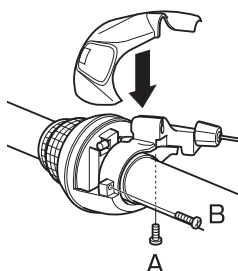
3. 図のように①～③の手順でインナーケーブルを交換してください。



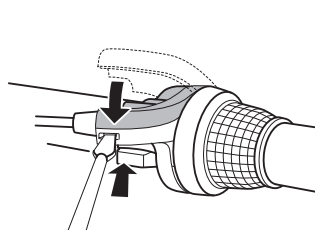
4. カバーを取付け、ドライバーでA・B本のネジを締付けます。

< フロント側レバー >

SL-RS47 / SL-RS45 /
SL-RS36 / SL-RS34の場合

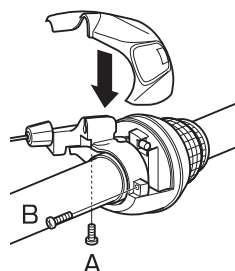


SL-RS35 /
SL-RS25の場合

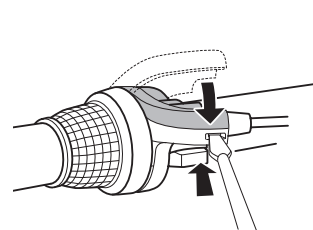


< リア側レバー >

SL-RS47 / SL-RS45 /
SL-RS36 / SL-RS34の場合



SL-RS35 /
SL-RS25の場合



プラスドライバー #1

SL-RS47 / SL-RS45 / SL-RS36 :
締付けトルク :
A : 0.10 - 0.25 N·m {1.0 - 2.5 kgf·cm}
B : 0.10 - 0.25 N·m {1.0 - 2.5 kgf·cm}

SL-RS34 :
締付けトルク :
A : 0.10 - 0.20 N·m {1.0 - 2.0 kgf·cm}
B : 0.10 - 0.20 N·m {1.0 - 2.0 kgf·cm}



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社 **シマノ**

堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577